

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成25年 4月17日

協議会・構成員 佐渡地域公共交通活性化協議会

佐渡市、新潟交通佐渡線、佐渡地区ハイヤー協会

運輸局、新潟県、佐渡西警察、佐渡東警察、学識経験者

民生委員、老人クラブ連合会、連合婦人会、その他会議に必要と認めるもの

事業名	補助対象事業者等	事業概要	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】  評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること	【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】	【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】 A ・ B ・ C 評価 記載例 : 計画どおり事業は適切に実施された。 記載例 : 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。	A ・ B ・ C 評価 【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】 記載例 (確保維持事業): 目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載) 記載例 (改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】  なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	事業者名:新潟交通佐渡株式会社 運行系統名:トキの森シャトル	運行区間:両津港佐渡汽船~潟上温泉~トキの森公園	A 計画どおり事業は適切に実施された。 A 当該系統の収支率は123.71%であり、トキの森公園を目的地とした観光客等の利用がある	B 目標値の実施期間中の月平均利用者数を650人以上に対し実績では月平均327人の利用となった。これは、運行日が土日祝日のため両津港からトキの森公園へ移動する観光客の利用が主であり、ネットワーク計画に記載した椎崎温泉や潟上温泉周辺の交通不便地域の学生や高齢者を利用者として取り込むことができなかったことが原因ではないかと推察している	北陸新幹線開業により小木港からの観光客の増加が見込まれ、これまでの両津港を入口とした観光客への対応に加え小木航路からの観光客をバス利用に繋げるため、平成25年4月から南線がトキの森公園へ迂回運行を行う。 これに伴い運行経路の大部分が競合するトキの森シャトルの運行は休止する。

【各評価項目の評価基準】

事業実施の適切性

- A...事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

目標・効果達成状況

- A...事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B...事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C...事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。